

EVENT

入学試験
1/24(金)

SNS



公式HP



facebook



Instagram



れいめい

REIMEIJIN

2024/NO. 2

れいめい、だからオモシロイ。



このプロジェクトは、市比野に暮らす方たちの町を盛り上げたいという思いから始まった。中心メンバーは、ソウルキッチン(居酒屋)の井川さん、弁天堂(お菓子屋)の谷口さん、原田米店(お米屋)の原田さん、大工の日笠山さん、SOKOKAKAKA(商業施設)の田尾さんだ。



工学科一・二年生はこの日、市比野にある新ヶ倉山に登り、竹を伐採した。放置されていたこの山をトレッキングコースに生まれ変わらせ、地域を盛り上げるイベントを行う予定だ。

工房日記

—工学科通信—

世のため人のため自分のため

2024/9/17

生徒たちは、地域の思いを感じながら、自然や林業について学んだ。伐採した竹は生徒たちが学校で加工し、トレッキングコースの看板や杖、ベンチ、竹のおもちゃなどに生まれ変わる予定だ。地域のために学ぶこの学びは、生徒の思考やスキルの獲得を促していく。誰かのためは、自分のためになっている。



そして、田中林業さんのご協力もいただいている。竹の伐採方法や、加工方法を学ぶ。さらに、この日の山登りには、鹿児島大学農学部井倉先生をお招きして、お話を伺った。ふだんの授業で得られない体験や、専門的な話を聞くことができた。



「れいめい人」はれいめいの卒業生やれいめいで輝く人を紹介したり、オモシロイことをお知らせする広報紙です。



キャリアアップコース通信

「甲子園」は白球を追いかける野球部だけのものではない！



キャリアアップコースだって、実は毎年「甲子園」に出場しているんです。「世の中に新しい価値を生み出せる人材を！」と今年も頑張っています。この前まで中学生だったキャリアアップコースの一年生も9月から「マイナビキャリア甲子園」に参加！

例えば、みんな大好きロッテのチョコレート！このロッテからは「今後の社会構造の変化を捉え、チョコレート」をキーワードにした、世の中を幸せに変革させるわくわくするようなサービスを創出せよ」なんてお題が今年はお出されています。

他には「アート引越センター」「ファミリマート」「セコム」「ミツカン」など一度は耳にしたことがあるような企業からのお題が多数。世の中を知る機会がたくさんあり、自分の日常も視点が変わります。もちろんキャリアアップコースの二・三年生もキャリア甲子園に参加していて、毎年全国大会の常連校になっています。

*マイナビキャリア甲子園：株式会社マイナビが運営する高校生向けビッグプロジェクト。チームを組み、企業からのテーマに挑戦するビジネスアイデアコンテストです。



ちなみに、キャリア甲子園だけではなく、一般社団法人NEXTTOURISMが毎年開催するSDGs思考の観光事業計画コンテスト「観光甲子園2024」にも二・三年生は挑戦しました！地域探究部門において、鹿児島を第二のふるさとに、というこで、三年生のチームが見事予選を突破し、次の準決勝のステージへと進んでいます。



そして、「プレゼン甲子園」なるものもあります。テーマについて深く考察し、自分の考えや念（おも）いを「伝える」ことで、論理的思考力・表現力・創造力を養うとともに、お互いの発表を通して総合的なプレゼンテーション能力の向上を目的とする大会です。

もはや、「甲子園」は年間を通してキャリアアップコースの生徒たちが目指すべき大きな舞台となっています。高校生ではなく一社会人として、一緒に仕事したくなるような、世の中を面白くしたくてワクワクする生徒たちがたくさん集まっているのがキャリアアップコースです！

ワレワレもれいめい人

— れいめい人編集部 コラム —

『ウェルカムじゃない』

「Thank youの返事はYou are Welcomeだ。英語教育を受けた者であれば、誰でも知っている。日本語だと「どういたしまして」だ。この「どういたしまして」は「何かをいたしたわけではありません（だから気になさらないでください）」の意味である。

ここに、「Welcome」の意味は含まれていないだろうか。「どういたしまして」は「ウェルカム」じゃなくても使うことができる。相手のお願いを聞いて「ありがとう」と言われたときに、もう頼まれたくないと思っても「どういたしまして」と返しておけば角が立たない。苦虫をかみ潰した顔で、トーンを下げて言えば完璧だ。「どういたしまして（気にしないでいいから、もう頼まないでね）」ということなる。

これを英語圏の人に伝えるときにはどうしたらいいか思案した。「Welcome」だと、「いらっしやいませ」なので、どれだけ嫌そうな顔で言っても（嫌だけれど）いらっしやいませになる。「不本意だけれど頼んでくれれば聞いてやらんこともないぞ」になってしまう。それならば、「気にしないでいいから、もう頼まないでね」を表現するには苦虫をかんて「Don't + mind」と言えはいいのか。などと、英語科の教員に話していると。向（こう）の人の多くは、含みを持たせずに、言葉でハッキリ言うのだと、教えてくれた。「Don't ask me again（もう頼まないで）」などと言えはいいそう。そうか、それでいいのか。

（れいめい人編集部）

